

## 6. コロンビアの日常6：交通網の今昔その2：二輪車

元天理教コロンビア出張所長  
清水 直太郎 Naotaro Shimizu

先日、コロンビアを訪れたメキシコ在住の日本人夫妻との間で、こんな会話が合った。

「私ら、コロンビアでは運転できませんわ。」

「ちょっと待ってくださいよ。メキシコシティの渋滞はこの渋滞なんて比ではないですよ。僕はメキシコで運転は無理、と思っているのに何でまた？」

「それは、コロンビアではバイクが多過ぎですわ。またむちゃくちゃな運転しているからですよ。」

実際メキシコシティで四輪車は多いが、見たところバイクは目立たない。それにこれも比べれば、コロンビアのオートバイの状況は初めての人でも気になる存在である。なるほど、これは調べるに値すると思った。出張所の周りでもオートバイにまつわる事故がたくさん起こっている。正直に白状するが、昨年(2022年)著者自身がオートバイと接触事故を起こした。正確に言えば、私が交差点で左折するため、自家用車を停車していたところを当てられたのだった。フロントガラスに二人乗りのオートバイが「ガッシャーン!」と映画のスローモーションシーンのように倒れてきた。事故に対する処理は一応熟知していたので問題にはならなかったが、それからしばらく、私はオートバイを見ると運転ができなくなるほどトラウマになった。

その他にも、出張所に通っている女性が交差点で車を止めているところに、反対車線から来たオートバイが接触して転倒し、救急車で運転手が病院に運ばれた。大半のライダーは規則を守らない、マナーが悪い、自己中心的な運転なので、自動車の運転手はオートバイに対しとても気を遣っている。

そうは言っても二輪車は全車両の6割を占めるので、コロンビ



【グラフ 世界の二輪車保有率】

アの交通手段の中では重要な位置にある。また、世界的にはそれだけでもないが、コロンビアはパンアメリカン(北・中・南米)の中で

は、100人あたりのオートバイ保有率が最も高い。<sup>(1)</sup>

コロンビアにおける二輪車の普及

RUNT(国家交通統一登録証)の2022年1月の統計によれば、およそ1,710万台の全車両のうち、バイクが約1,196万台、車が670万台、その他は特殊自動車やトレーラーなど18万3千台ほどである。<sup>(2)</sup>コロンビアは、二輪車が圧倒的に市民の「足」となっていることを示すものである。

特にコロナ禍になってからのオートバイの普及はすさまじい。なかでも、「モトタクシー」(バイクの後部座席に人を乗せるという簡易タクシー)という分野が急成長した。このモトタクシーはコロンビア各地で、行政の最も規制が行き届いていない非合法なサービス業となっている。<sup>(3)</sup>

カルタヘナ大学のフランシスコ・マサ教授は、コロンビアの非合法な合法交通には2つの原因があるとして、次のように分析する。「一つは都市公共交通サービスが不足していること。特にカルタヘナ市、バランラキージャ市、ブカラマンガ市、サンタマルタ市、シンセレホ市とモンテリア市(カリブ海沿岸～太平洋岸

の都市)では、モトタクシーが戸口から戸口までのサービスで、低料金であることから市民に歓迎さ



【写真 モトタクシー】

れている。二番目の原因は少し複雑であるとして、人々が失業し、バイクが容易に入手できて、それによって生活の糧に役立てていることだ。<sup>(4)</sup>要するに、以前から慢性的に「公共交通」が不十分であることや、コロナ禍で失業した人が移動手段の需要を目論んだことが、各地でモトタクシーを増加させたというわけである。

オートバイの増加理由

オートバイの増加理由には以下のようなことが指摘されている。

1. ランニングコストが低い。80～90%のバイクが200cc以下の排気量であり、使用目的は職場への交通である。宅配業務にも使用されているが、例えばボゴタで一人の交通出費はメトロバスを使用すると約20ドル弱、一方バイクだと10ドル強である。
2. ナンバー規制が無い(大都市では自動車は、ナンバーの末尾によって運転できない日がある)。ドライバー達はこのナンバー規制により、市内に行けば駐車場を探さなければならず、結局自動車を保持するのは経費もかかり、面倒なのである。
3. 公共交通の質の低下。バス、メトロバスのサービス(治安の悪さ・本数の不安定さなど)に問題があり、これにも市民はもううんざりしている。
4. 比較的安価でライセンスが取れる。また、125cc以下だと車両税が免除されるという利点もある。

バイク犯罪

興味深い数字がある。<sup>(5)</sup>首都ボゴタの話だが、昨年2022年の4月～6月の3カ月の盗難件数は26,054件、そのうちの11%(2,770件)はバイクと関係し、また2021年は42%の殺人事件にバイクが使用されていたという。

ある警備員とバイクについて話をする機会があった。首都ボゴタ、第二の都市メデジン、そしてカリ市では後部座席には男性は乗車禁止、女性のみ法規があるという。それはもちろん犯罪防止のためであるが、後部座席に乗る女性の「刺客」がメデジン市では増えているそうである。

【註】

- (1) 「バイク豆知識」 [https://bike-lineage.org/etc/bike-trivia/world\\_motorcycle.html](https://bike-lineage.org/etc/bike-trivia/world_motorcycle.html)
- (2) "Estas son las 10 ciudades de Colombia con más motos" <https://www.eltiempo.com/colombia/otras-ciudades/las-ciudades-con-mas-motos-registradas-en-colombia-segun-el-runt-657380>
- (3) "Mototaxistas en Colombia: ¿Cuál ha sido su crecimiento en pandemia?" NACIÓN 03 de marzo 2022, 04:07 P.M. El Tiempo. <https://www.eltiempo.com/colombia/otras-ciudades/mototaxistas-en-colombia-crecimiento-de-transporte-ilegal-en-pandemia-643718>
- (4) ¿Por qué hay más motos en Colombia? 11 de febrero 2012. "El Tiempo" <https://www.eltiempo.com/archivo/documento/MAM-5189290>
- (5) "Las motos en Colombia: ¿Son realmente los parrilleros los causantes de la Inseguridad?" CAMBIO: 4 de abril de 2022 <https://cambiocolombia.com/articulo/pais/las-motos-en-colombia-son-realmente-los-parrilleros-los-causantes-de-la-inseguridad>